

## 7. 女性相談に関する意識調査

### 調査結果の概要

<b>テーマ</b>	女性相談に関する意識調査
<b>担当課</b>	子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども家庭課
<b>設問数</b>	6 問
<b>趣旨・目的</b>	<p>本市では、困難な問題を抱える女性への支援強化を目的として「堺市困難な問題を抱える女性への支援に関する基本計画」の策定に向け作業を進めています。</p> <p>今回のアンケートは、計画を策定するに当たり、女性相談窓口が市民の皆様にとどの程度知られているかを把握するために実施するものです。調査結果は、計画策定の基礎的な資料として活用したいと考えています。</p>
<b>調査結果</b>	各設問のページをご覧ください。
<b>調査結果に係る 担当課の所見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問 70・71 では女性相談窓口があることや本市各区役所子育て支援課に女性相談員がいることは、それぞれ約 6 割の方に知られていることが分かりましたが、問 73 では、本市に配偶者暴力相談支援センターがあることは、約 3 割の人にしか知られていない状況でした。</li> <li>なお、問 72・74 では、相談窓口に関する情報の取得方法が広報さかいと回答した方が最も多かったため、引き続き、広報さかいを活用した広報を実施します。</li> <li>・問 75 では、悩みを相談しやすいと思う方法が全体では専用電話と回答した方が最も多くなりました。一方で、18 歳以上 30 歳未満及び 30 歳代では、専用メール及び専用 SNS と回答した方が多い状況であり、専用メール及び専用 SNS の利用により相談へのためらいが軽減され、相談しやすいことが分かりました。より相談しやすい環境を整えるため、相談方法の見直しを検討します。</li> </ul>

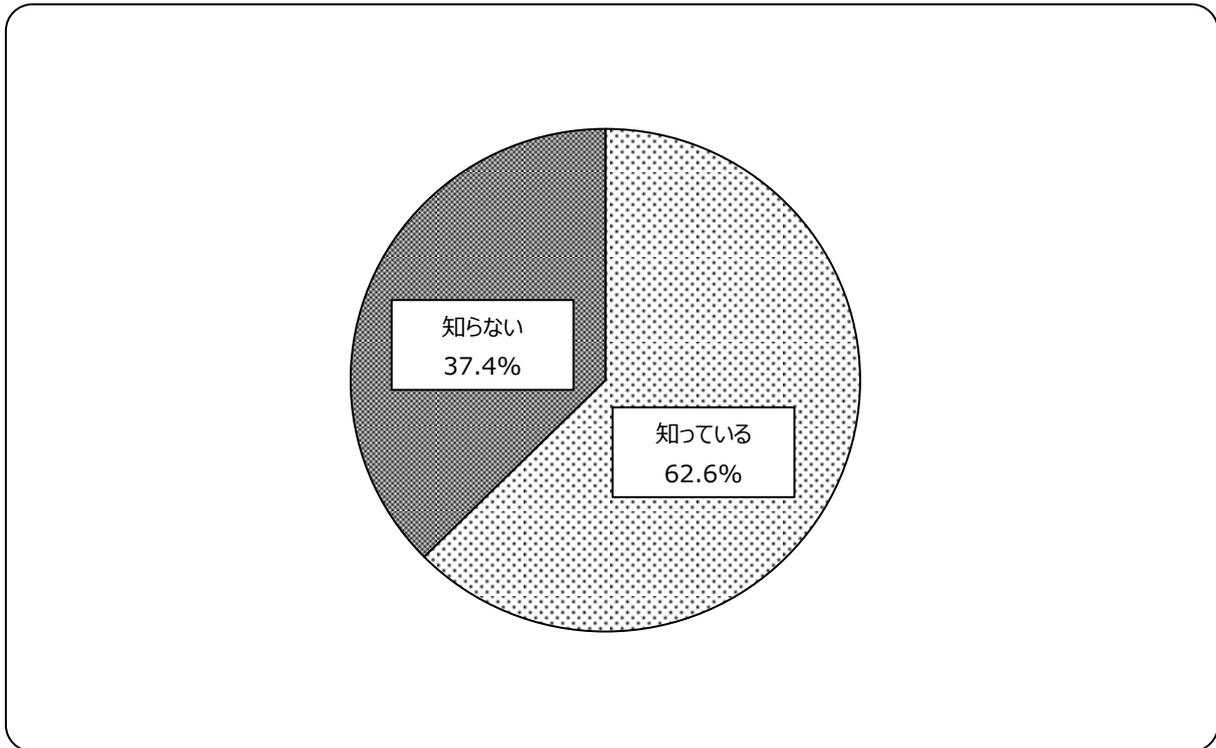
(1) 女性相談に関する意識調査

問 70. DV や離婚等の女性を取り巻く様々な問題に対して、女性が相談できる窓口があることを知っていますか。

【1つ選択】

「知っている」と回答した方は 62.6%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている	293	62.6%
2	知らない	175	37.4%
	計 (回答総数)	468	100.0%



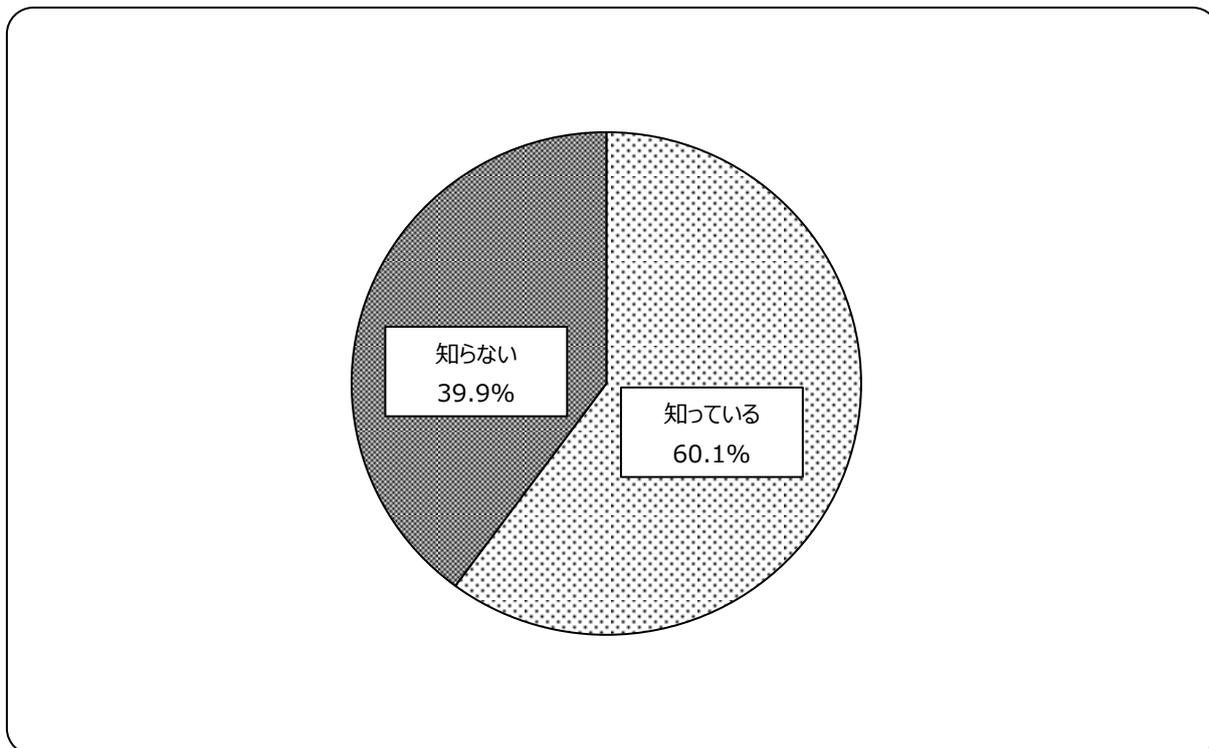
問 71. 問 70 で「1 知っている」と回答された方に伺います。

本市では各区役所子育て支援課に女性相談員（女性相談支援員）がいることを知っていますか。

【1 つ選択】

「知っている」と回答した方は 60.1%であった。

	選択項目 (n=293)	回答数	構成比
1	知っている	176	60.1%
2	知らない	117	39.9%
	計 (回答総数)	293	100.0%



問 72. 問 70 で「1 知っている」と回答された方に伺います。

女性相談窓口をどのようにして知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

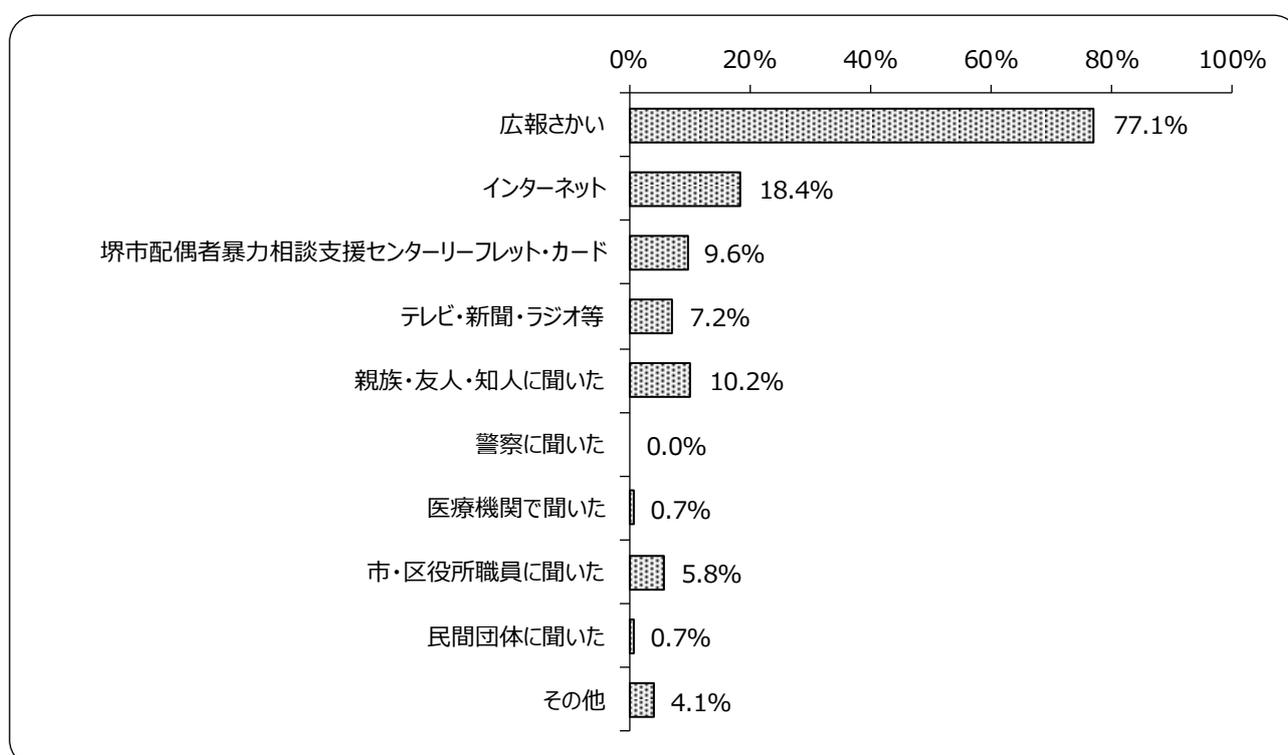
「広報さかい」と回答した方が 77.1%と最も多かった。

	選択項目 (n=293)	回答数	回答数/n
1	広報さかい	226	77.1%
2	インターネット	54	18.4%
3	堺市配偶者暴力相談支援センターリーフレット・カード	28	9.6%
4	テレビ・新聞・ラジオ等	21	7.2%
5	親族・友人・知人に聞いた	30	10.2%
6	警察に聞いた	0	0.0%
7	医療機関で聞いた	2	0.7%
8	市・区役所職員に聞いた	17	5.8%
9	民間団体に聞いた	2	0.7%
10	その他	12	4.1%

[10 その他]

【主な回答】

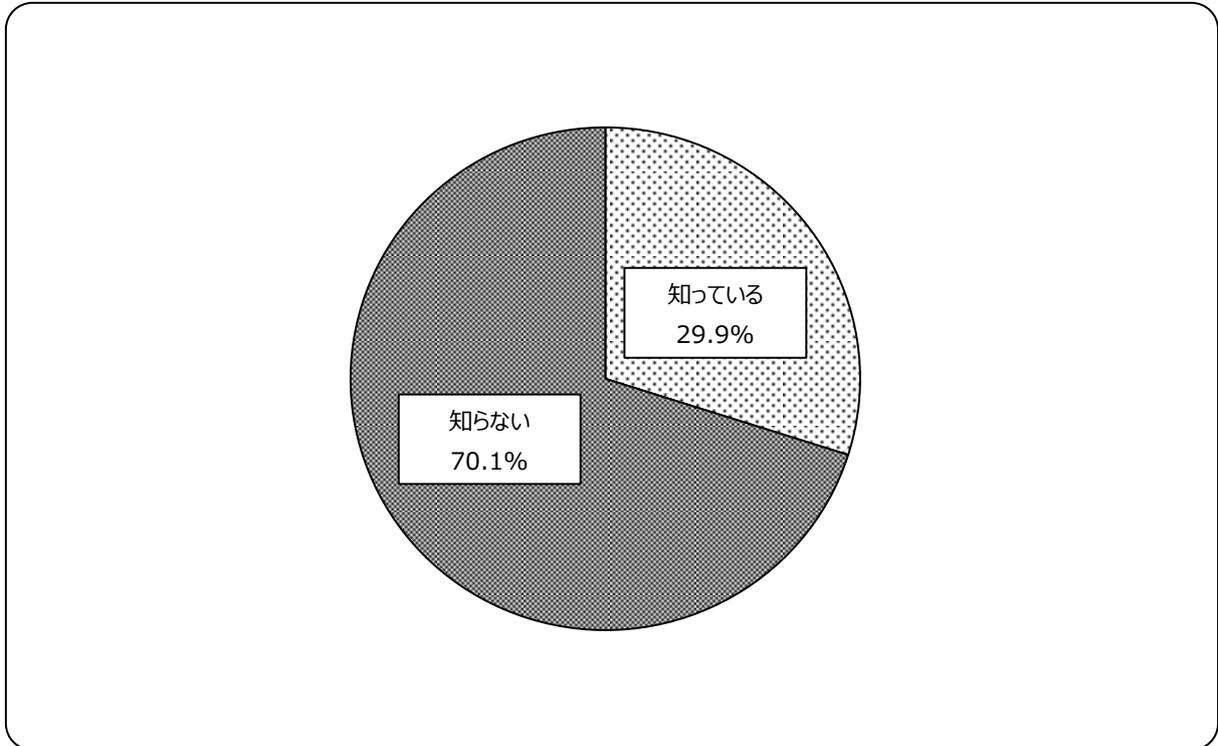
- 図書館の女子トイレ
- 実際に見た。
- 専門書
- 職場
- nishinishi (西区広報紙)



**問 73. DV 専門電話相談窓口として、本市に配偶者暴力相談支援センターがあることを知っていますか。【1つ選択】**

「知っている」と回答した方は 29.9%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている	140	29.9%
2	知らない	328	70.1%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問 74. 問 73 で「1 知っている」と回答された方に伺います。

堺市配偶者暴力相談支援センターをどのようにして知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

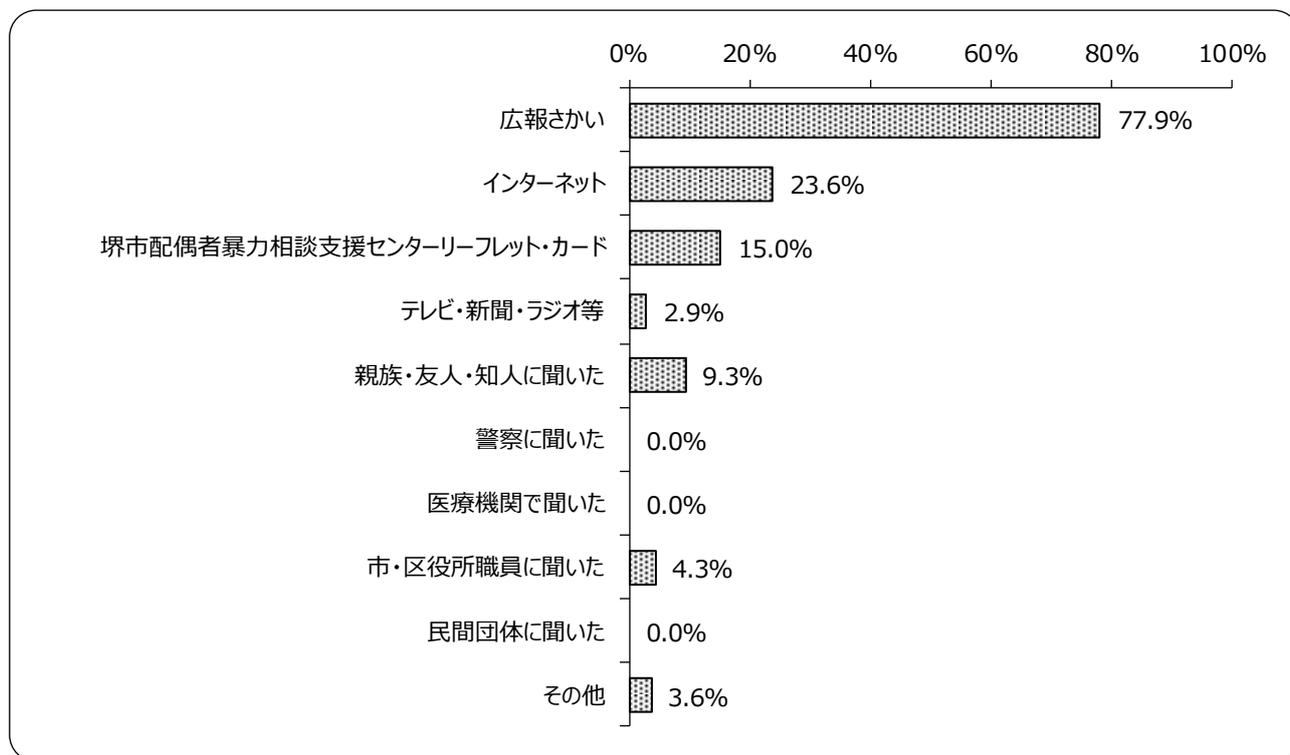
「広報さかい」と回答した方が 77.9%と最も多かった。

	選択項目 (n=140)	回答数	回答数/n
1	広報さかい	109	77.9%
2	インターネット	33	23.6%
3	堺市配偶者暴力相談支援センターリーフレット・カード	21	15.0%
4	テレビ・新聞・ラジオ等	4	2.9%
5	親族・友人・知人に聞いた	13	9.3%
6	警察に聞いた	0	0.0%
7	医療機関で聞いた	0	0.0%
8	市・区役所職員に聞いた	6	4.3%
9	民間団体に聞いた	0	0.0%
10	その他	5	3.6%

[10 その他]

【全回答】

- 医療系学校
- 専門書
- 保育士課程
- nishinishi (西区広報紙)
- 職場



**問 75. DV等の悩みを相談する場合、どのような方法が相談しやすいと思いますか。【複数選択可：いくつでも】**

「専用電話」と回答した方が最も多く、58.8%であった。

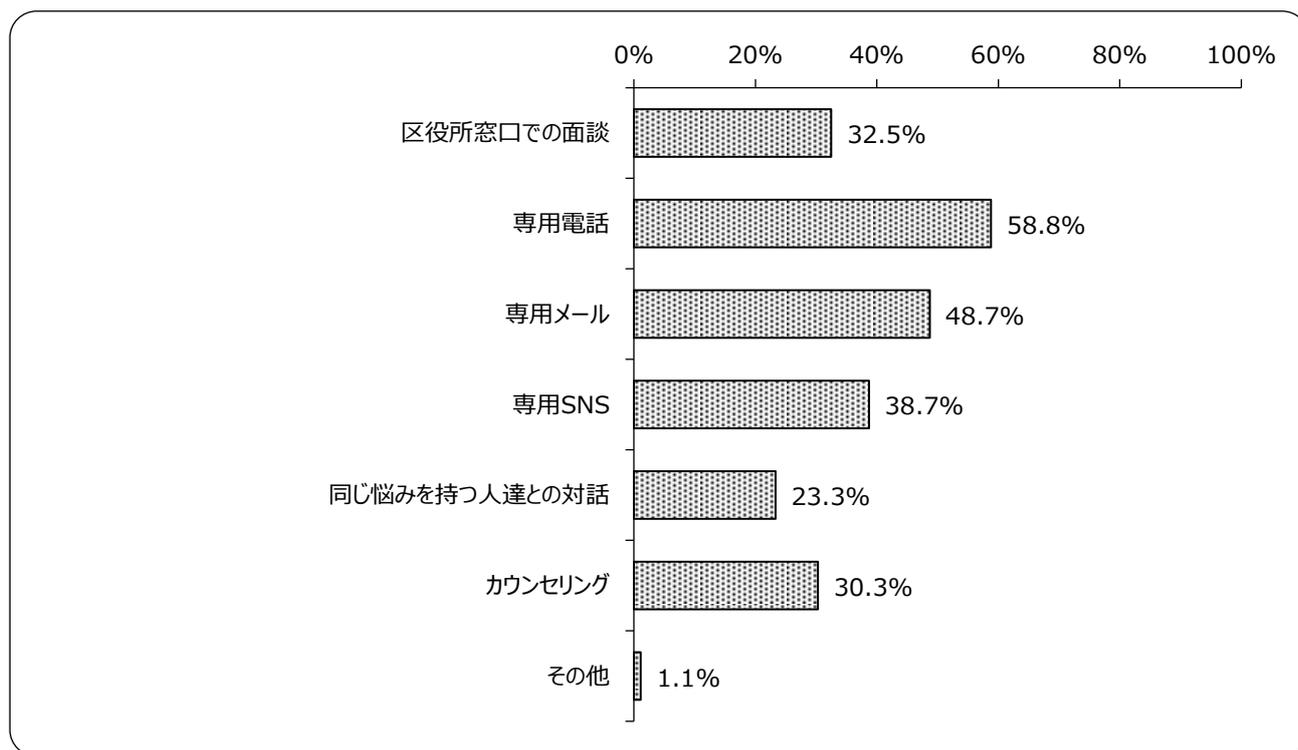
18歳以上30歳未満及び30歳代では、「専用メール」及び「専用SNS」と回答した方が多かった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	区役所窓口での面談	152	32.5%
2	専用電話	275	58.8%
3	専用メール	228	48.7%
4	専用SNS	181	38.7%
5	同じ悩みを持つ人達との対話	109	23.3%
6	カウンセリング	142	30.3%
7	その他	5	1.1%

[7 その他]

**【全回答】**

- 警察
- 信頼できる場所がない。
- チャット
- 個室での予約制面談
- 守秘義務での相談



《年齢別》

